



新型コロナウイルスも災害と考えて！

豪雨、台風、地震といった自然災害に立ち向かう防災、見えないウイルスを相手の感染予防。令和二年度はウイルスの感染を防ぐ、避ける、予防・準備することで半年が過ぎてしまいました。

まだまだウイルスとの戦いは続いています。

テレワーク、外出自粛は疑似在宅避難

この機会に、自宅の飲料水・食料、非常時持出しなどの防災用品・備蓄品の点検をしてみませんか？

マスク、除菌できるウェットティッシュ、消毒液、キッチンタオル、体温計等の感染予防品が入っていますか？(新型コロナウイルスやインフルエンザ感染予防)

避難所内は三密状態 片瀬山の一時避難所は片瀬中学校

地震や津波、豪雨・強風や台風など災害の恐ろしさ、それらへの備えの重要性など、ニュースを見聞きしたあの時の、強い思いが次第に薄れ来ていませんか。今年の台風 21 号の時には水害に備え、藤沢市の浸水予想地域から大勢の人が避難しました。

片瀬中学校には 370 名が避難してきました。この中には片瀬山の方もおられました。片中アリーナは、まさに「密閉・密集・密接」の三密の状態でした。

三密を避けるためにも、在宅避難は重要な選択になります。

片瀬山防災会では、避難所・避難施設での三密状態の防止策、マスクや消毒液など感染予防用品の備蓄、避難者の受け入れ数・体制などの見直しを、藤沢市に働き掛けたいと考えています。

自治会と防災会について(その1)

防災会へのよくある質問が、自治会・防災会ってなに？というものです。

自治会とは

自治会(地区によっては町内会)は自分たちの住む環境を自らがつくり上げていく自主的な団体です。最も身近な「自治をおこなう組織」といえます。

その活動は、多くの分野で行政(藤沢市)と協力して行われますが、行政の手が行き届かない身近な課題を解決し、その地域独自の「暮らしの価値」や「地域の価値」を作っています。



片瀬山一丁目斜面崩壊防止工事

「わたくしたちの街は、わたくしたちで守る」→自助と共助

自治会と防災会について(その2)

自治会活動の中で、地震・津波や風水害などの災害に備え、安全な街を作るため、自治会の中に、自主防災会があります。

自主防災会

片瀬山では自治会ごとに、それぞれ「自主防災会」を持っています。

「わたくしたちのまちを、私たちが守る」という自覚や連帯感に基づき、災害による被害を予防・軽減するための活動を行うため自主的に結成された組織です。

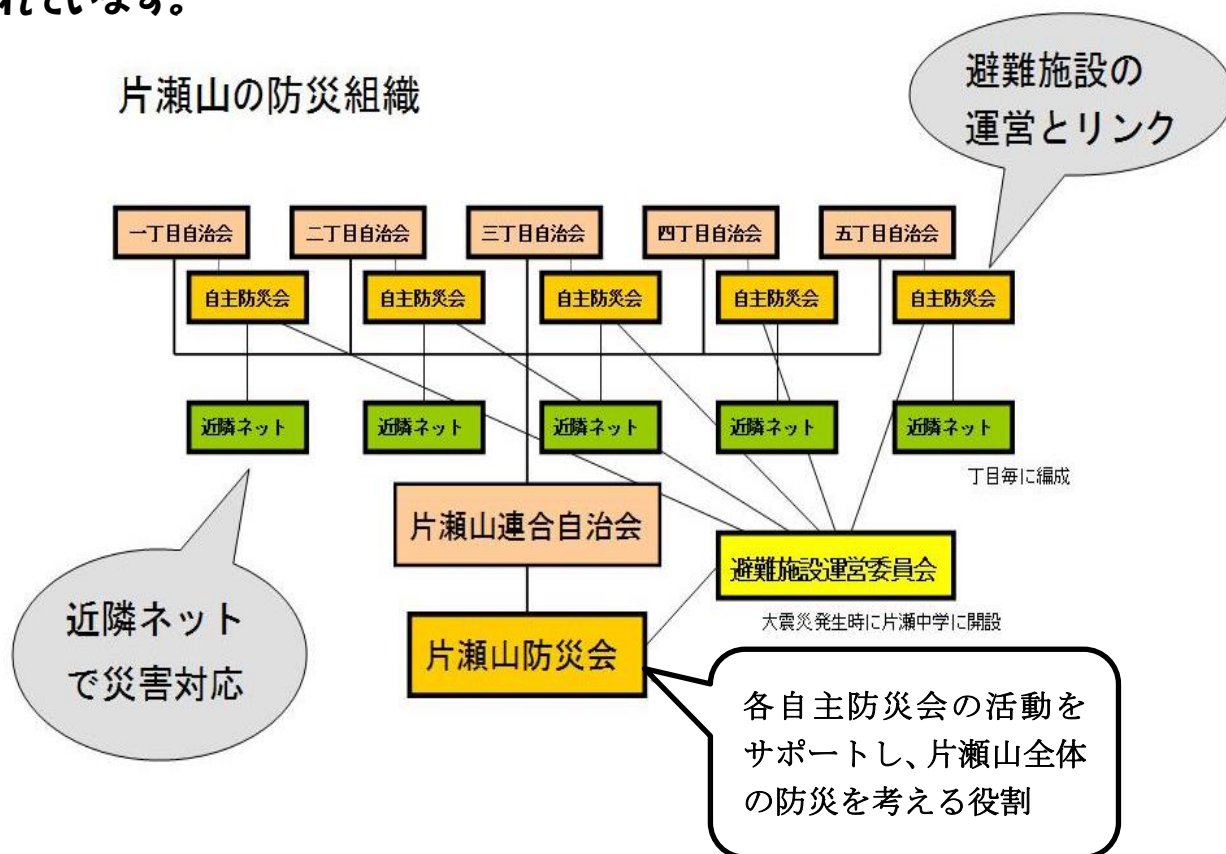
「自主防災会」は行政（藤沢市）ができない部分を補う役割を持っています。

片瀬山防災会

片瀬山の5つの自主防災会と連携して片瀬山の防災を考える組織です。

そのメンバーは、5つの自治会の会長と自主防災部長および防災ボランティアで構成されています。

片瀬山の防災組織



各自治会の防災活動はそれぞれの自主防災会が担っています。

大災害(震災・津波・台風など)で生き延びる防災では、自助・共助が大きな力となります。自治会や自主防災会は地域防災の要です。自治会役員だけでなく自治会員それぞれが防災の必要性を確認することが大切です。



発行：片瀬山防災会
発行責任者：会長 朝日眞道
編集責任者：広報グループ
若月哲夫